

		NPO法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴 会報	
		発行人/理事長 馬場 英男	
		〒625-0036 舞鶴市浜 247 番地	
		(志摩機械三條ビル3階)	
		TEL/090-3281-7539 FAX/0773-63-9764	
		E-mail brick@iris.eonet.ne.jp	
<b>特定非営利活動法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴</b>			
会報 89号 平成 26年 8月 1日			
「NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴」ホームページ <a href="http://www.redbrick.jp/">http://www.redbrick.jp/</a>			

目次

1 平成 26 年度通常総会 事業・会計報告 事務局	4 連載『我が国の近代土木遺産 2』 こいけりか氏
2 舞鶴市与保呂浄水場海軍水道施設見学会報告 岡山市犬島(近代化産業遺産)視察旅行 <b>参加者募集</b>	5 小企画展「歴史を証言するれんが」 小野 章氏
3 連載『舞鶴の古民家 1』 成生その 2 日向 進氏	6 その他 ・平成 26 年度会費納入について ・平成 26 年度「京都創造者賞」受賞速報 ・編集後記

**1. 平成 26 年度通常総会 事業・会計報告 事務局**

平成 26 年 6 月 1 日、事務局において、平成 26 年度 NPO 法人赤煉瓦倶楽部舞鶴の通常総会を開催しました。

以下、4 議案を審議し全員異議なく承認されました。その概要を報告します。

第 1 号議案 平成 25 年度事業報告 (会報で主な事業は報告済みのため省略)

第 2 号議案 平成 25 年度決算報告 以下の通り

収入の部			支出の部		
科目	金額(円)	備考	科目	金額(円)	備考
1 会費収入	103,000	入会 3 名、個人会員 50 名	1 事業費	530,527	金華総合見学、近江/瀨野新築、廿日の市土入れほか
2 事業収入	537,061	市内見学・市外視察会費、廿日の市ほか	2 管理費	849,632	旅費交通費、会報費、エアコン設置費、ピン/ハッチほか
3 寄付金等収入	43,464	募金、寄付金	3 法人税・住民税	0	
4 雑収入	22,044	受取利息、消費税還付	—	—	—
当期収入合計(A)	705,569	(内、赤煉瓦保存基金 32,293)	当期支出合計(C)	1,380,159	(内、赤煉瓦保存基金 58)
前期末繰越正味財産額	4,190,860	(内、赤煉瓦保存基金 1,031,737)	当期支出差額(A)	-674,590	
収入合計(B)	4,896,429	(内、赤煉瓦保存基金 1,064,030)	次期繰越正味財産	3,516,270	(内、赤煉瓦保存基金 1,063,972)

第 3 号議案 平成 26 年度事業計画

平成 26 年度も引き続き、法人の目的を達成するため、まちづくりの推進を図る事業及び学術、文化、芸術を図る活動を行うこととし、主に以下の事業を実施する事とした。

- ① 市内赤煉瓦建造物の見学会 (見学先は、与保呂浄水場) 5月11日(日) am9:30~12:00 実施済み
- ② 市外の近代化産業遺産視察旅行 (視察先は、岡山市犬島) 8月30日(土) 開催予定
- ③ 旧丸山小学校保存再生プロジェクト ④ 赤煉瓦ネットワーク富岡大会(11月8・9日)参加、次期開催地・舞鶴市予定のため、富岡市より横断幕引継予定。世界遺産富岡製糸場等見学 ⑤ その他 廿日の市等イベントに参加し募金・PR活動実施

第 4 号議案 平成 26 年度事業会計予算

収入の部			支出の部		
科目	金額(円)	備考	科目	金額(円)	備考
1 会費収入	105,000	入会 3 名、個人会員 51 名	1 事業費	521,738	与保呂浄水場見学、犬島視察旅行、廿日の市土入れほか
2 事業収入	652,500	市内見学・市外視察会費、廿日の市ほか	2 管理費	741,360	旅費交通費、会報費、消耗品費ほか
3 寄付金等収入	15,000	募金、寄付金	3 法人税・住民税	0	
4 雑収入	20,750	受取利息、消費税還付	—	—	—
当期収入合計(A)	793,250	(内、赤煉瓦保存基金 5,250)	当期支出合計(C)	1,263,098	(内、赤煉瓦保存基金 58)
前期末繰越正味財産額	3,516,270	(内、赤煉瓦保存基金 1,063,972)	当期支出差額(A)	-469,848	
収入合計(B)	4,309,520	(内、赤煉瓦保存基金 1,069,222)	次期繰越正味財産	3,046,422	(内、赤煉瓦保存基金 1,069,164)

## (1) 第3回市内赤煉瓦建造物見学会開催報告

さる5月11日、快晴の中、舞鶴市東地区の二級河川与保呂川上流に位置する舞鶴市水道施設「与保呂浄水場」を見学しました。

舞鶴鎮守府水道施設は艦艇補給用水確保のため、この地に水源を求め、与保呂川支流に砂防堰堤、量水堰堤、我国最初期の重力式コンクリート造の桂取水堰堤を設け明治34年に貯水池が完成、北吸樋水池までの約7kmをイギリス製の鑄鉄管で送水した。更に、機能拡充で明治38年に岸谷川上流に貯水池施設を、大正10年に岸谷川下流に貯水池施設を増強し現在の姿となった。先の大戦で敗戦後舞鶴市に移管され、今もほとんどが現役で稼働している。2003年12月に、舞鶴旧鎮守府水道施設(与保呂・北吸)として、国の重要文化財に指定されたこと等、職員の説明を受け、当時の技術の高さを学び感銘を受けた。新聞報道で申し込みが殺到し、瞬間に20名定員をオーバー、最終的に49名の参加となり盛況な見学会となりました。その際の写真をお届けします。(下写真、馬場撮影)



与保呂浄水場管理棟前に集合



桂取水堰堤



岸谷貯水池堰堤



岸谷川上流日接合井(煉瓦造)

## (2) 第4回市外近代化産業遺産視察会 参加者募集

①日 時： 平成26年8月30日(土) 日帰り

6:30 市役所発→中→西駅6:50頃出発→宝伝港⇄犬島、市役所20時頃帰着 予定

②場 所： 岡山市犬島327-5 犬島製錬所美術館、家プロジェクト見学

③参加募集： 先着25名、参加費は、会員7千円・その他8千円 (昼食、車中飲物等含む)

募集期限 8月10日(日) 厳守。定員になり次第、締め切りますのでご了承ください。(下写真、馬場撮影)



犬島港



銅製錬所跡



三分博志設計「製錬所」



犬島みかげ花崗岩産出跡

## 2. 連載『舞鶴の風景 1』 「舟屋のある漁村集落・成生(なりう) - その2-」

副理事長 日向 進(会員NO.59、京都工芸繊維大学名誉教授)

成生は若狭湾に面した漁業を生業とする集落です。成生神社の日引石製の灯籠には、若狭小浜の魚屋や伊根浦の人たちの名が刻まれており、海を介した当地との交流圏をうかがうことができます。

慶長7年(1602)の検地帳には、成生村には小成生村という分村があり、成生村は63戸、小成生村は13戸と記録されています。『成生の生ひたち録』(成生漁業組合編、大正7年)によると、「全戸数の内十中二は農を専業とし、其他は漁撈を業となし、若(若狭)・丹(丹後)海は勿論、加賀・能登海方面まで延縄漁業に出稼」していたそうです。しかし慶長12、3年頃、出漁中の大量遭難により一挙に働き手を失ったため、小成生村を廃して成生村に集まったそうです。このような大きな痛手をうけたにもかかわらず、ときの領主京極氏は年貢の減免に応じなかったため、人々の離村が相次ぎ、寛永年間(1624~43)には戸数が7戸まで激減したとされます。以後少しずつ回復し、文政3年(1820)に20戸になり、明治まで大きな増減はなく、現在にいたっています。

集落の背後には黒々とした椎(シイ)を中心とした雑木が茂る森が迫っています。雑木の森は水を浄化し、豊かな栄養分を海に供給してきました。こもりと茂った木々は海面に影を落とし、魚付き林として魚たちに格好のすみかを提供してきました。

椎はまた舟屋の柱や土台に使われます。椎は強い塩分を含む海風にもよく耐えるので、潮風にさらされる舟屋に最適な材料なのです。日引石も舟屋の土台や屋敷地を造成する石積みに使われています。漁網の防腐剤としては柿渋(カキシブ)が使われましたが、柿もまた背後の山で育てられました。柿渋をいれた渋壺を軒下に埋めた民家もみられます。身近な材料を有効に活用してきた暮らしのあり方が、このような集落を造形してきたのです。(下の写真は日向進氏撮影)

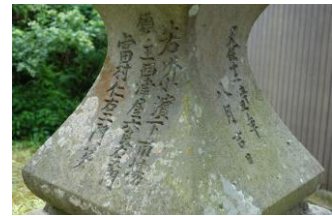




成生の集落



成生神社から浜を見る



石灯籠



軒下の洗壺



舟屋の柱と土台



集落のなかの狭い道

### 3. 連載『我が国の近代土木遺産 2』～ドボクイサン重箱の隅～ こいけりか（特別会員 NO.87、(公財)日本交通公社勤務

第1回は、東舞鶴の港に残る明治期の石積み護岸が形成する曲面や曲線を目にするとき、気になっていたことを記してみたが、「石積み」にはいくつか積み方がある。近代の土木構造物の石積みで、多く見られるものに[布積み]と[谷積み]があり、街なかでも目にするものなので、呼称は知らなくても積まれた石を見たことのある人は多いと思う。石積みの種類は、石の積み方だけでなく、積んだ石の背面構造による分類もあり、積み石の裏込め(後背部分)にモルタルやコンクリートを使ったものを[練積み]、モルタルやコンクリートは使わず、割栗石や砂利を入れたものを[空積み]と呼ぶ。練積みは5m、空積みは2m程度の高さまで積み上げることができるとされ、練積みと空積みは、積み石と擁壁背後の地山の間の構造の違いで区分される。[練積み]は、時として石積の外観にモルタルが目地状に見える場合もある。



画像①布積み



画像②谷積み



画像③練積み

(こいけりか氏撮影)

①広島県呉市・旧海軍港護岸、②福岡県大牟田市・三池港護岸、③茨城県美浦村・旧海軍鹿島航空隊基地跡

石積みは、①～③の他にも石の積み方や外観形状、使う石の加工具合等によって[乱積み]、[亀甲積み]、[野面石積み]等の様々な区分があり、石積みを手掛ける職人も安土桃山城の石垣を手掛け、古墳の側面の石積みに工法の起源を持つとされている穴太石工(穴太衆)が広く知られている。

日本では古来より、城郭の石垣等で様々な石積みが建設されてきたが、旧海軍が建設した東舞鶴の街でも、旧軍港の護岸をはじめ土木構造物の様々な場面で、加工された石を用いた構造物を見ることができる。それらは、石を垂直方向に積み上げるだけでなく、時として水平方向に敷き詰めたものもある。

舞鶴の街を歩いてみると、住宅地を流れる川幅5mあまりの榎川の川底に石材が敷き詰められていることに気付く。全国近代化遺産活用連絡協議会のサイトに掲載されている「遺産リスト」では、榎川の石積み護岸は、明治35年頃とされており、河床部の石材も同時期に整備されたものではないだろうか。残念ながら榎川の護岸の石積みは改修されているが、河床の石材は現存しており、明治31年に始まった海軍による街の建設時、榎川の整備の一環としてこのような河床が形成されたことは想像に難くない。



画像④榎川上流方向



画像⑤榎川河床に敷かれた石材



画像⑥河床からみた下流方向

(こいけりか氏撮影)

河川の縦断方向に落差がある場合、水が落ちる河床部の洗掘を防ぎ、水叩き(水が落ちて当たる部分)の補強目的で石が敷かれることがあるため、石が敷かれた河床は珍しくはないが、榎川の河床は段差がなく、石材も河床全面に敷き詰められている。これは、川底に溜まる泥を流し、河川のメンテナンスを軽減させる工夫と考えることができる。画像④と⑥を見ると榎川の河床の中心部分と左右の護岸の間の石張り部分は、勾配が異なり、河床中央部が低水路状の横断形状になっていることが分かる。水量が少ない時でも低水路部分を河水が流下し、河川のメンテナンスに有効な河床の形状が考案されている。

些細な設計上の工夫と言われてしまうかもしれないが、現代の河川では見ることができない河床形状と素材でもあり、こんな経緯にも旧海軍の土木設計の合理的な思想をうかがい知ることができるのだ。

#### 4. 市企画展「歴史を証言するれんが」について 理事 小野 章(No.9 赤れんが博物館勤務)

この8月8日から赤れんが博物館で開催する小企画展「歴史を証言するれんが」についてご紹介します。

舞鶴市は旧海軍鎮守府の立地した町であり、また戦後大陸諸国特ニソ連からの抑留者を多数受け入れた港であることから、当博物館も、平成5年の開館当初から広島・長崎の原爆被爆建造物のれんがやアウシュビッツ強制収容所など戦争関係の建物のれんがを意図的に収集・展示してきております。

開館20年を超えてこの類のれんがも一定の数に達したため、来館者にわかりやすく参観いただけるように、この際廻車のれんがを2階の一室に集約・展示して、併せて小企画展を実施するものです。展示は、時代順に配置してはおりますが、収集に限りがあるので、範囲や順番は厳密ではありません。ともあれ各歴史的事象を現実のものとして感じていただければと考えます。

ジャンルは、大きく分けて戦争・革命(戦争)・強制収容そして原爆投下に分かれます。戦争はニューオーリンズの戦い(米英戦争と南北戦争)・レニングラード包囲戦・スターリングラード攻防戦・ベトナム戦争であり、革命はアメリカ独立革命(戦争)・リトアニア独立革命、強制収容はアウシュビッツ・ビルケナウ並びにテレジング強制収容所・日系アメリカ人の強制収容・シベリア抑留、原爆投下は当然ながら広島と長崎です。また、東西冷戦の終了を象徴するベルリンの壁の崩壊を加えました。

ご存知のように、人類はいまだに争いに明け暮れております。実際今回の展示を準備するうちに、人類とは果たしてホモサピエンス(「知性ある人」)の名に値する種なのかという疑問が湧いてきました。人類の脳の奥に残る爬虫類などとも共通する「原始脳」の役割が結構大きいのではないかと考えます。このように、決して明るい内容ではありませんが、舞鶴という土地柄ならではの「人類史」を考えさせる展示ですので、ぜひともご参観いただくようご案内いたします。

(参考)ニューオーリンズのれんがについては、平成12年2月にジャズ視察者を代表して、赤煉瓦俱樂部舞鶴の馬場理事長から博物館に寄贈されたものです。



二階展示室 (小野 章氏撮影)

#### 5. その他 平成26年度会員会費納入について ほか 事務局

1 平成26年度会費納入について 同封の郵便振替用紙にて 8月末までに お振込みください。

2 **速報！ 平成26年度「京都創造者大賞2014」において、「京都創造者賞」<もてなし・環境部門>を受賞しました。**

この賞は、京都府・京都市・京都商工会議所で構成する「京都創造者大賞顕彰委員会」が、毎年、京都ブランド、京都の都市格向上に貢献した企業や団体、個人を表彰しているものです。今年度で8回目との事で、これまでから当法人を推す声が多かったとの事です。来る9月11日に龍谷大学にて授賞式が開催されます。

3 **編集後記** STAP細胞が存在するの否か、私のA4ファイルは新聞コピー等でパンパンに膨れ上がりました。いよいよ、7月から小保方さんが参加して11月末までの監視付き再現実験が始まりました。次回発行予定の11月1日号会報には、真偽のほどは間に合いそうにない状況です。朝日新聞で「男が生きる」というシリーズがありました。その中で、STAP報道に関して言及していましたが、まだまだ日本社会は「男性目線」なのだと思惑し考えさせられた次第です。(b)

会員資格： 会費納入者(特別会員は除く)。入会金1,000円、年会費(個人2,000円、法人10,000円)。

なお、会員申込用紙は、ホームページからダウンロードできます。ご寄附も受け付けます。

会費・寄付金等 振込先： ゆうちょ銀行 口座番号 01010-6-21476 加入者名：赤煉瓦俱樂部・舞鶴